

鈴鹿市人口ビジョン（令和2年3月改定版）のポイント

- 住民基本台帳データを基にした推計によると、総人口は2045年までに171,939人まで減少。
 - 老年人口が2045年頃まで増加傾向、年少人口及び生産年齢人口は減少傾向であると予測。
 - 自然増減については、合計特殊出生率の低下、20歳から49歳の女性人口の減少。
 - 社会増減については、20歳から39歳までの年齢層で依然として転出超過。進学や就職時の転出、転勤による若い世代の東京都・愛知県への転出が依然として見受けられるほか、県内の隣接市町への流出傾向。
 - 世帯構成も単独世帯が増加傾向。高齢者の単独世帯、親と子から成る世帯が割合的に高い。50歳から64歳の単独世帯も増加。
- ※ 以下、参考資料として掲載。

図1 年齢3区分別 将来人口推計

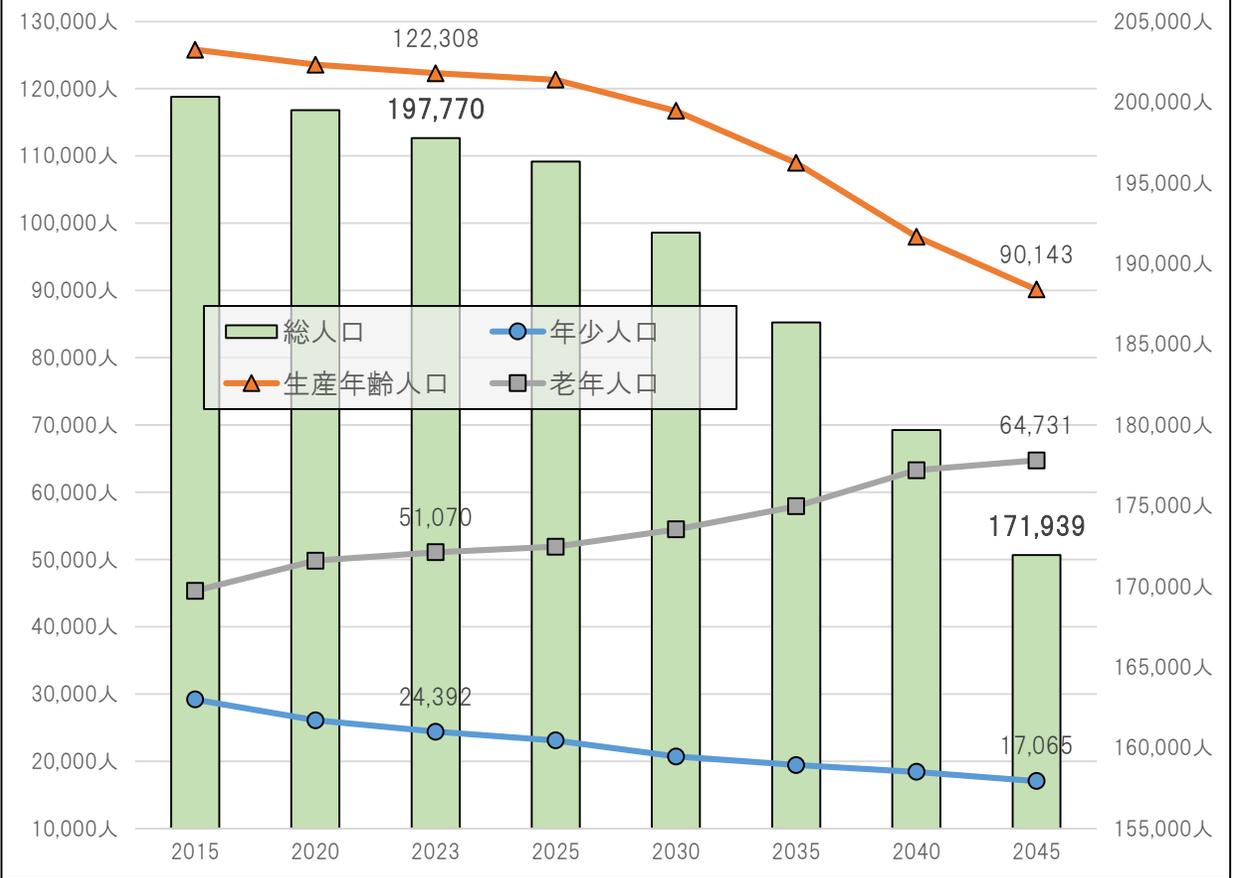


図2 出生・死亡数、転入・転出数の推移(総人口)

